

# とんな子みっけ!

運動会が終わって、秋たんけん、新入園児の願書受付、収穫祭、そしておさらい会。行事が目白押しの2学期もそろそろ終盤です。

先日は、それぞれお子さんの役ごとにトレーナーやタイツなどを用意して下さい、ありがとうございました。また、衣装作りのお手伝いには11人のお母さまが申し出て下さり、先生たちが長年、“あったらいいな~”と思っていた衣装



も作っていただくことが出来ました。穴川花園幼稚園の財産!大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

おさらい会は、1年間の“おさらい”ですから、園生活で培ってきたことを発表する場です。ことばや理解力、表現力、友だちとの関わりなどが、おゆうぎや劇、合奏や歌などの取り組みで活かされるものです。そして、先生に言われるがまま動き、繰り返し練習をするのではない、それぞれ役の気持ちになって動いてみたりセリフを言ってみたりして、先生と子どもたちと一緒に作り上げていくのが穴川花園幼稚園のおさらい会です。

子どもたちがおさらい会の活動を楽しんでいることは、前記の様子や、何よりご家庭でのお子さんの姿から感じて頂けていると思います。幼児期の子どもたちにとって、“楽しんで取り組む”ことが1番大切です。



先日、年少組が舞台でおゆうぎを言うので、一緒について行くと・・・

「先生お客さんになるの?」とTちゃん。「今日ね、幕が付いているんだって!」とAくん。「ギターいいでしょ!あげないよ。」とHちゃん。お客さんが観に来ることや、周りの様子が変わっていたり、アイテムが増えることなども取り込んで楽しんでいるんだな~と感じます。

また、年中組が合奏の準備中に、大太鼓を舞台に運ぼうとしていたので手伝うと、「大丈夫!わたし大太鼓だから。」とMちゃん。身体よりずっと大きくて重たいはずですが、できることは自分で頑張りたい気持ちがよく表れていて、これも楽しんでいるからこその姿だと思います。



また、年長組の言語劇では、なかなか大きな声が出せなかったり、前を向いて話せない子もいます。でも、友だちが褒められているのを見たりしながら、“ぼくも頑張るぞ!”と奮起して、底力を見せる子もいます。出来るようになった喜びは大きく、楽しむことに繋がっていくのでしょうか。

こうしてみると、“楽しんで取り組む”ことの中に、周りの変化に気付き期待を膨らませたり、頑張る・挑戦する意欲や、競争心・向上心などが自然と湧いていることがわかります。それは、今まで園生活で培ったことが活かされているからこそ。いろいろな思いを糧にしながら取り組む子どもたちの姿は、まさに1年間の集大成です。

さあ、いよいよおさらい会。新しく作っていただいた衣装を着て踊ることも、子どもたちの更なる“楽しむ”に一役も二役も!かってくれることでしょう。

# とんな

「とんな」は、ようちえんで起こる  
とんなとき・とんなこと・こ~んなにを  
折々お届けします。

## おいもパワー

ネイチャーランドで掘って来たおいもを使って、ケーキをごちそうしてくれた年少組。

ある日、「先生見て~!」と呼び止められて、びよんびよんとジャンプを見せられました。何のことやらと思っていると、「おいもケーキ食べたから上手になったの!」と解説してくれました。

きつとおさらい会に向けての活動の中で、「おいもケーキ食べたから、ダンスが上手ねえ。」と先生にほめられたのでしょうか。

ツルを引っ張ったり、穴を掘ったりして自分で掘ったおいもには、パワーがいっぱい詰まっているんですね。秋たんけんのパワーも注入して、初めてのおさらい会も楽しんで取り組みそうです。恐るべし!おいもパワー。



ホットケーキミックス・卵・牛乳を混ぜます。角切りおいもをトッピングして、オープンで焼いたおいもケーキです。

## 「みに来て！」

ある日、「舞台上オペレッタやるからみに来て！」と手を引っ張られて、ホールに連れて行かれました。おさらい会の活動を楽しみ、“自信が出てきたのだな〜”と期待して観ていると・・・スライディングをして登場！その他、手を振ったり、ピースをしたり、わざと転んでみたり、お友だちとぶつかり合って踊ったりしています。ちょっぴり面食らいながら、ふと隣りを見ると担任の先生がほっぺを膨らませています。それでも、“あれ？先生なんか怒ってる？”といった様子で、ただならぬ雰囲気気付かない位、とにかくお客さんの存在が嬉しかったのでしょう。

そう言えば、お誕生会のインタビューでも、マイクに向かって叫んでみたり、手を振ったりしている子が多いのが年中組。恥ずかしいとか緊張するとか言うより、今は！“楽しい〜”気持ちの方が勝るのですね。



“7ひきのこやぎごっこ”  
お腹の中には石ならぬ、ぬいぐるみが出てきました。



## こ〜んな子みっけ！

よ！葉っぱの道がどんどん続く



おいもケーキ「おいしくなりませうように・・・」とのさまにお願ひです。



## 「さっきなんて言ったの!？」

おさらい会に向けて、一人ひとりにセリフがある“言語劇”に取り組んでいる年長組からは、なかなかお誘いがありません。「みに来て！」と気楽には行かないようです。



そんな年長組も、セリフを覚えて舞台上で演じることに慣れて来ると、お誘いの声がかかります。そこで激励に！ちょこちょこお邪魔に行きます。

そんな頃、Dくんから声をかけられました。「ねえねえ！さっきなんて言ったの!？」と。私は思わず「なんの時？」と尋ねました。「舞台上でやってる時だよ〜。お友だちがお話してたから、よく聞こえなかったんだ。」と言うのです。

ちょっと前の舞台練習中、Dくんが伸び伸びと演じている姿に感心して、「大きな声でお客さんによく聞こえるね。やさしいお話の仕方もとってもすてき！」と褒めました。それが嬉しくてもう一度聞きに来たのだとピ〜んと来て、「え〜っと、『Dくん先生のことが大好き。』って話でしょ！」とちょっとイジワルを言ってみました。すると「違うでしょ！」とふくれるDくん。ほら！ちゃんと聞こえていたくせに〜です。

それ以来、Dくんは舞台上でいつも輝いています。褒められたことで大きな自信を得たのですね。



日ごとに堂々と、セリフを言うことができるようになる年長組。